



学校だより

調布市立調和小学校
校長 横山 公一
令和3年10月31日

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

秋 スポーツフェスティバルの回顧 展覧会への夢

校長 横山 公一

びっくりするほど気温が下がり寒くてたまらない朝や、あの日は何だったのだろうかと思議なほどの暖かさの入り混じった日が続きます。街の景色になじむ木々の枝にも、こっそりと秋色の装いに変えた一葉、また一葉が見られるようになってきました。季節は進み、調和の子供たちも同様に少しずつ成長という変容を見せてくれています。

おかげさまで、10月8日土曜日に令和4年度のスポーツフェスティバルを開催することができました。多くの方のご参観をいただきました。事前の準備から、当日の子供たちにねぎらいの言葉や、拍手での応援のおかげで、学年限定での披露ではありましたが、子供たちにやるぞという意欲ややってよかったなという達成感を味わわせることができたこと、御礼を申し上げます。ありがとうございました。各学年だより等を通じて、練習時の様子や当日の出来具合など報告しておりますが、全校をまとめてここで紹介します。徒競走は省きます。

3年生：プログラム1番は、大変な緊張が強いられますが、そんなことは吹き飛ばし、元気いっぱいな3年生でした。学級ごとに考えた振り付けの「三々七拍子」応援を披露したのち、3種類の隊形で、きれのあるダンスを発表しました。全員黒系の衣装に、白ハチマキがきまっていました。

1年生：学級ごとにカラーがありました。青・赤・黄色のシャツにリストバンドといういでたちで、とびだせスマイル！きらりんマスカット！の曲に合わせて踊りました。全員が楽しそうにリズムよく腕を振り、ステップを踏んで踊っていました。

5年生：黒装束に、沖縄の民族衣装のイメージを模した赤やブルーのカラフルサージをつけて、演技を披露しました。まずは集団で、時代のうねりを表現する波の動き、それに引き続くクラスのリーダーを中心に創作、練習したダンス、エイサーの豪快な舞で最後を締めくくりました。

2年生：「心ひとつに調和の八木節」赤・黄・青がサラサラでキラキラ光るカチカチ棒を両手に持った黒Tシャツの2年生が、息を合わせて跳躍し、八木節を披露しました。リズムアクセントの和太鼓の響きと、子供たちの躍動が調和していました。美しく、見事な踊りでした。

4年生：当日に向けて、自主的に練習をする子供たちが日に日に増えていったそうです。よっちょれは、曲に合わせ、黒の法被をまとった子供たちがソーラン節ではおなじみの動きや新しい動きを表現していました。終末はハチマキの色別三角隊形と、更に立体的に見せる動きも見事でした。

6年生：まさに、最高学年。圧巻の演技でした。「成長した姿」「格好良い姿」「感謝」の想いをもって、演技切りました。一人技組体操の形をいくつも披露したのち、全員で中央に円形の隊形を保ちつつ、風に揺れる草原のように、大海原のうねりのように、なめらかで壮大な様子を表しているかのようでした。6年生はまとう衣装の色はなく、体操着で一貫しましたが、一人ひとりそして、学年全員の心が光って輝いているように見えました。全員の力と協力で作り上げました。

追記：休み明け、児童鑑賞日も全児童が校庭にいすを並べ、その中央で全学年がそれぞれ披露しました。子供たちの小さな手であっても、650人を超える拍手が、すべての子供たちに勇気を与えているように見え、土曜日とはまた違った出来栄と会の雰囲気を持ち、無事終了しました。

展覧会：11月は展覧会です。今度は子供たちの静的な創作表現の場です。楽しみにしてください

